

平成22年度の21世紀土地改良区創造運動が実施されました。

【主催】

東根市土地改良区

【協力者】

山形県村山総合支庁建設部 山形統合ダム管理課
東根市経済部農林課
山形県土地改良事業団体連合会（通称：水土里ネットやまがた）
株式会社 中央測量設計事務所

【内容】

東根市内の小学生（高崎小、東郷小、神町小、東根中部、大富小）が農業用水の必要性和農業水利施設の大切さを学び、農業環境や身近な自然とふれあう機会を作るものである。

【見学及び体験した施設】

- 白水川ダム
- 大富地域最上川取水口吐出口
- 東部地域神明地内転倒ゲート
- 若木地域畑地かんがい施設（散水施設、集中管理システム）

【開催日程】

- 平成22年6月11日（金） 午後1時20分～
東根中部小学校3年生144名、先生7名
- 平成22年7月6日（火） 午前8時30分～
高崎小学校4年生14名、先生3名
- 平成22年8月26日（木） 午前8時30分～
大富小学校4年生49名、先生2名
- 平成22年8月31日（火） 午前9時00分～
東郷小学校4年生17名、先生2名
- 平成22年10月8日（金）、10月12日（火）、10月13日（水） 午前8時30分～
神町小学校3年生146名、先生6名、教育実習生1名

平成22年度の21世紀土地改良区創造運動 活動状況写真(1/2)

【東根中部小学校3年生】



ダム堤体でダムの役割を勉強



監査廊の階段を下りていく子供たち



ダムの放流施設を見学

【高崎小学校4年生】



転倒ゲートの見学及び体験



監査廊でダムの管理方法を聞く子供たち



畑かんの仕組みを勉強する子供

【大富小学校4年生】



最上川取水口吐出口を覗き込む子供たち



ダムの監視制御室を見学する子供たち



畑かん施設見学で無線通信を体験

平成22年度の21世紀土地改良区創造運動 活動状況写真(2/2)

【東郷小学校4年生】



ダムの放流施設を見学



畑かん施設で水の縄跳びをする子供たち



転倒ゲートの見学及び体験

【神町小学校3年生】



畑かん施設見学で無線通信を体験



排水路にいる生き物を見ている子供たち



ダムの放流施設を見て驚く子供たち

以上が平成22年度 21世紀土地改良区創造運動の活動状況です。

施設めぐり実施日数＝7日間（5つの小学校合わせて）

施設めぐり参加生徒・先生数＝391名（5つの小学校合わせて）